

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和8年3月4日 第51号



## 今年度の振り返りと来年度に向けて～2月27日(金)第5回きらら委員会(CS)～



今年度最後の第5回きらら委員会を開催しました。今日の午前中には、6年生を送る会にも委員の皆様のご参観いただき、その感想も交えながら、今年度の振り返りと来年度に向けて学校づくりビジョンについての協議などを行っていただきました。委員の皆様からは、次のようなご意見やご提案をいただきました。

- あいさつをし続けていると、子どもたちも自然とあいさつをしてくれるようになってきた。最近では、ハイタッチをしてくれるようになってきた。
- 子どもたちは元気に過ごしている様子が伝わってきたが、放課後の過ごし方はスマホやPCなどで生活様式が一変したように感じる。
- 地域の自然に触れながら遊ぶ子どもの姿がいいなあと思うが、危険であれば注意したほうがよいかどうか、戸惑うこともある。
- 言葉遣いや気になる行動は叱ることは必要だと思う。周りの環境を整えることが大切。
- 言ってもいい言葉とダメな言葉は、きちんと教えるべき
- 振り返りを大切にされていることは、これからの社会で生きていくうえで、とても大切だと思う。
- 先生と保護者、先生と地域の方が対話をするのは大事。機会が増えると良い。
- 保護者の方同士つながりをつくるのが、子どもの力をつけるには重要だと思う。
- 先生が生き生きしている学校をめざしたい。そのためには、委員とも困り事を共有することができると良い。
- 子どもと接している大人の姿も気をつけていなくてはならない。
- 家庭において、保護者の働き方なども影響し、親と子どもの時間をとることができていない現状もある。これからの家庭教育についても、何ができるのかを考えていかななくてはならない。

など、学校評価アンケートの結果も踏まえながら、ご意見などをいただきました。また、子どもたちを取り巻く環境を整えるという観点から、「下校時に声をかけても不振に思われぬよう、私たちきらら委員が学校関係者だとわかる目印があるといい。」「一声かける運動を、町全体で取り組むのもよいのではないか。」などとの意見もありました。来年度のビジョンにも、「めざす保護者、地域、教職員の姿」を取り入れ、推進していくことを確認いたしました。最後に、旧パソコン室を新たに、きらら委員会をはじめ、地域連携を主として利用できる部屋としていくために、教室の名称についてご意見をいただき、「コミュニティルーム きらら」という名称に決まりました。

年間を通して、きらら委員会の活動や評価をいただきながら、学校の取り組みの良さや課題点を明確にさせていただくことができました。委員の皆様にご感謝申し上げますとともに、さらに発展、充実させられるよう取り組みを進めていきたいと思います。

## 家庭でも話し合ってみてください～SNS やゲーム等によるトラブル予防～



今年度も残すところ、卒業式まで12日、修了式まで15日となりました。6年生を送る会では、子どもたちも練習の成果を発揮し、自分たちらしく発表できた姿がありました。学校での子どもたちの様子を見ていると、学年末に向かう中で、次の学年に向けて、一生懸命、取り組もうとする姿が見られる一方、友だち同士のトラブルの中で、SNSやゲームの話題が理由に上がってくることも見受けられます。学校では、SNSやゲームでのやりとり介入することが難しく、前触れもなくトラブルに発展しているケースも多くあります。学習に必要な持ち物については、各学年だよりにてお知らせしましたが、スマートフォンやゲームなど、ご家庭の方針でお子様に持たせているものについては、ご家庭にて使用についてのルールの取り決めややりとりの確認など、管理をしていただくことで、子どもたち一人ひとりの健全な育成と子どもたち同士の適切な関係性を育むことにつながります。学年にもよりますが、今一度、お子様を交えてお話させていただきますようお願いします。



(文責 岡本浩樹)